

# こまい補少



第64号  
発行

生駒警察署  
少年補導員協会

平成28年  
4月

第215世東大寺別当 上司 永慶 筆

## 新しい年度を迎え 心も新たに

生駒警察署  
少年補導員協会

会長 有山 豊茂



平成二十八年、桜花爛漫の季節も過ぎ、新緑が目鮮やかな清々しい季節になってまいりました。

皆様におかれましては、益々ご清栄の事とお喜び申し上げます。

日頃は、生駒警察署少年補導員協会に深いご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

今春、希望に満ち溢れて入学された新入生たち、また新学期を迎えた在学中の児童生徒もようやく落ち着いて学校生活を送っている頃だと思えます。

情報社会と言われて久し

## 心も新たに

い今日、我々大人は勿論、子どもたちを取り巻くインターネット社会において、

携帯端末から得られる情報は、好むと好まないにかかわらず子どもたちが手を伸ばせばすぐ届く所に存在するのが現実なのです。もちろん現代社会では、なくてはならない物ではありませんが、それらの利用の仕方が、間違わないように身近な大人たちが今一度、必要な物を見極めて子どもたちに与えないければならないのではないのでしょうか。

便利なIT端末機で情報を上手に取り入れて、日常生活や学業に活用することは今やごく普通に必要なのは思われますが、果たしてそれだけでいいのでしょうか？

広い意味で、人として人間形成に必要な自分自身を大切にし相手を思いやる心

を養う教育、これを忘れてはならないように思います。家庭と学校それに地域の大人たちが温かくも厳しい目で子どもたちを見守り、学業も大切ではありませんが、心を養う手助けを行っていかねなければならぬと考えます。

社会の「宝」である子どもたち、私は子どもたちを見守る活動の中で、当協会の会員の方も含め、ボランティア活動にご尽力いただいておりますすべての皆様には是非お願いしたいことがあります。

保育園や幼稚園児には「手をはなさず」、小学生児童には「目をはなさず」、中高校生には「心をはなさず」。この「はなさず」の気持ちを持つて子どもたちに接しながら見守っていただきたいと思えます。

補導員の皆様におかれましては、日々の見守り活動を引続きお願いいたします。この場を借りまして、子どもたちの見守り活動をはじめ、ボランティア活動に取り組んでおられる皆様から敬意を申し上げます。

最後に、皆様方の今後益々のご健勝をお祈りいたしまして私の挨拶とさせていただきます。

空き巣・車上・部品ねらい  
振り込め詐欺が多発  
ご注意ください。



# 着任にあたって

生駒警察署長

福井 武男



本年二月二十六日付けの人事異動で、生駒警察署長として着任いたしました福井武男と申します。

昭和五十三年に警察官を拝命し、主に刑事部門で勤務して参りました。

皆様には、平素から警察活動各般、とりわけ少年補導活動や少年の健全育成活動にご理解とご協力を賜り、また、昨年度は、街頭補導活動をはじめ、奈良県カンファレンス及び地域安全運動奈良県民大会等、多くの行事に熱心に取り組んでいただきなど、多大なご尽力につきまして、心から敬意と謝意を申し上げる次第です。

さて、昨年度下の刑法犯認知件数は一〇、〇三六件と対前年比で一、一〇四件減少させることができ、当署管内におきましても、五三七件と対前年比で七九件減少となりました。

しかしながら、県民が不安を身近に感じる住宅対象侵入窃盗や車上ねらい、あるいは、被害者の大半を高齢者が占める振り込め詐欺などの特殊詐欺についても抑止に未だ歯止めがかからない状況にあるなど、市民の方々が、肌で感じる治安の回復には至っていない現状にあります。

特に最近では、声かけ事案やつきまとい事案、児童虐待やいじめ問題等、子どもや女性が被害に遭う事案が数多く発生し、また、少年非行をめぐる情勢につきましても、数値的には減少傾向にありますが、少年による凶悪事件、インターネ

ットやスマートフォンを利用した犯罪、誹謗・中傷が全国各地で発生するなど、少年を取り巻く状況は非常に厳しいものとなっております。

これらの状況を打破するためには警察の力だけではなく、少年補導員協会の皆様をはじめとする「地域の支え・ご協力」が不可欠と考えております。

今後とも、一層のご支援とご協力を賜りますようお願いするとともに、少年補導員協会のますますのご発展と委員の皆様のご健勝を祈念申し上げます、着任の挨拶とさせていただきます。

生駒警察署生活安全課長  
北久保 孝行



この度の人事異動で、生駒警察署生活安全課長として着任しました北久保孝行と申します。

少年補導員協会の皆様方には、平素から少年の健全育成活動にご理解とご支援を賜りありがとうございます。

生駒警察署に着任するまでは、奈良警察署の地域課、警察本部の警務課や警備第二課等で勤務しており、警察官を拝命して十五年目となりますが、その大半を警察本部のデスク部門で勤務しておりまして、生活安全部門を担当するのは初めての経験となります。

そのため、多くの不安を抱えてのスタートとなりましたが、着任して以来、少年補導員協会の皆様をはじめ、多くの方々の温かい言葉や多大なるご協力に支えられ、ようやく地に足をつけて仕事ができるようになったところがあります。

生活安全課が取り扱う業務内容は、防犯講習、少年事件や特別法犯の捜査、許可事務など多岐にわたりますが、その中でも、とりわけ少年の非行・被害防止と健全育成に係る活動はとて重要なものになります。現在、県警察では、「子ど

もを犯罪の被害者にも加害者にもさせない」ための対策について重点的に取り組んでおりますが、子どもたちが健やかに育つことや、そのための環境づくりは社会全体が求めるところであり、「安全で安心して暮らせる奈良の実現」につながるものであると思います。

少年補導員協会の皆様方の健全育成に対する深い理解と熱心な活動は、日ごろからとても心強く感じているところでありまして、皆様方とこれらの活動に一緒に緒させていただく機会を得たことを非常にうれしく、また有難く感じております。私にとっては経験の浅い業務ではありますが、非行防止をはじめとする少年の健全育成と「生駒市の安全・安心なまちづくり」のために一生懸命努力してまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

生駒警察署生活安全課係長  
友田 裕康



この度の人事異動で生駒警察署生活安全課の防犯・許認可係長として着任しました友田裕康と申します。

生駒署での勤務は初めてでありましたが、平成十七年に赴任した御所警察署以降、これまで十年間にわたり生活安全課の業務を担当しております。

ただ、ここ数年は主に事件捜査を担当してまいりましたので、行政的な仕事をするのは約六年ぶりということもあり、若干の戸惑いを感じながら日々勤務している次第であります。

生駒署に赴任して早々、少年補導員の皆様と京都府警察平安騎馬隊への研修会にご一緒させていただき、その研修を通して、皆様方の少年の健全育成に対する思い入れや熱心な活動ぶりを見聞きし、非常に心強く感じているところであります。

す。

少年補導員の皆様方には、何かとご迷惑をおかけするかと思いますが、生駒市の治安維持と少年の健全育成のために精一杯頑張っていると思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

生駒警察署生活安全課主任  
花岡 美希



この度、二月二十九日付で生駒警察署生活安全課少年・事件係の主任として着任しました花岡美希と申します。

生駒署に着任する前は、西和警察署や警察本部の生活安全部門で勤務しておりました。

生駒警察署での勤務は初めてであり、管内の地理に不安なところもありますが、少年・事件係の主任として、市民生活の安全と平穏を守

るために全力を尽くしますので、前任と変わらぬご支援をお願い申し上げます。

**引き続き  
よろしくお願ひします**

武田係長 少年・事件係



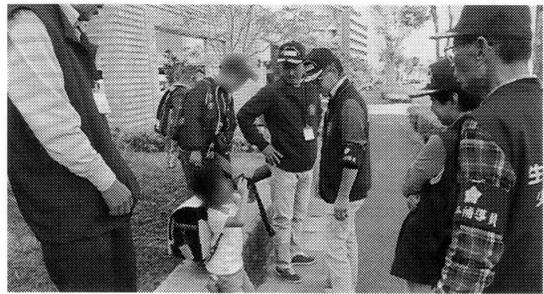
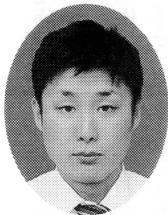
笥主任 少年・事件係



小槻係員 防犯・許認可係



名越係員 少年・事件係



### 各地区の街頭パトロール

毎月第3金曜日は、県下一斉の少年サポートデーとなっています

## 日帰り研修報告

副会長 瀧口 政則

今回の研修は、京都府警察では、警視庁と京都府警察のみが活動されています。

歴史は、大正十年二月七日、当時の京都府警察に騎馬警官が配置され、昭和初期には約五十人の騎馬警官が活躍していました。しかし、戦後の昭和二十年後半に、急速なモータリゼーション（自動車が生生活必需品として普及する現象）の普及に伴い、騎馬警官は消滅してしまいました。平成五年三月、京都府知事から平安遷都一二〇〇年記念事業として提案され、平成六年二月十日、京都競馬場を活動拠点に京都府警察平安騎馬隊が創設されました。

その後、平成九年十月、京都市左京区宝ヶ池公園憩いの森内に施設が整備され、活動拠点を移し現在に至っています。騎馬隊の隊員は、みんな警察官です。だから、「騎馬隊員になりたい。」と思つたら、まず京都府警察の警察官採用試験に合格することが必要です。そして、無事に警察学校を卒業し、交番勤務、パトカー、白バイ、機動隊などで警察官としての知識・技能を身につけた後、騎馬隊への異動も可能となります。ほとんど



京都府警 HPより

の隊員が乗馬未経験なので、馬に乗ることがなくても大丈夫。でも、初めは泣きながら猛特訓をされたようです。特例ですがアレルギ―反応が出て除隊された方が、おられたようです。

一見華やかな騎馬隊ですが、実は、朝から晩まで訓練や厩務作業で汗まみれ泥まみれ…。だから「それでも騎馬隊員になりたい！」と、本当に強く希望していることが一番大切です。競走馬を引退して平安騎馬隊に入隊してきた新馬。そんな彼らにはこれから騎馬隊の一員となるための、厳しい訓練が待っています。担当の騎馬隊員とともに、立派な騎馬隊の精鋭となるための険しい道のりが、あるようです。

競走馬として速く走ることを主に教わってきた彼らが、騎馬隊員として第二の人生（馬生？）を送るために騎馬隊に入隊してきました。最初は新しい環境に慣らすため放牧をしたり、担当の騎馬隊員との信頼関係を築くため、横に並んで一緒に歩く「曳き運動」を行います。初めは暴れたり、反抗したりと苦労が絶えないとの事ですが、日が経つにつれて担競走馬は騎手が乗るとすぐ走るように調教されていきます。しかし騎馬隊

ではパレード・交通安全教育・京都三大祭の「葵祭」や「時代祭」で先導警備等の速く走ることは要求されない活動ばかりです。担当者は逆に我慢させてゆっくり歩かせたり、他の馬と合わせて走することを教えないければなりません。馬は凄く臆病な性格なので、最初は地面に置いたタオルを跨ぐのもなかなか出来ませんが、日に日に担当者に頼るようになってくるようです。新馬も段々と騎馬隊員らしくなってきました。ここまで来るのに三年ほどかかり、ようやく騎馬隊の一員として活躍出来るようになると思います。

新馬の名称は、京都の山名が付けられ現在は、愛宕・大文字・小倉・大江・鞍馬・笠置の六頭が居ます。馬は、自転車と同じ「軽車両」として扱われ、道路を歩く事が出来るのです。

騎馬隊厩舎は、京都市宝ヶ池公園の憩いの森内に有り自由に見学できます。



騎馬隊員としての活動を無事にこなし、先輩達に追いつき追い越すためにこれからも担当者共々、毎日生懸命練習されています。主な活動として、子どもの安全を守る活動の一環として府内の小学校の通学路で、下校時間帯を中心に騎馬パトロール、また隊舎付近の小学校周辺で月曜日から金曜日の朝、児童に対する警